2nd Adaptive Stand-up Tennis East Japan Tournament 第2回障がい者立位テニス東日本大会 報告書 Report



Photo by Hitoshi IZUMI



General Incorporated Foundation
JAPAN ADAPTIVE STAND-UP TENNIS ASSOCIATION

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会 2022.11.25

第2回障がい者立位テニス東日本大会 実施概要

- **今 日 時** 2022年11月13日(日)・雨天中止 受付開始 9:15~、開会式 10:00~、試合開始 10:30~
- 帰 所 千葉市蘇我スポーツ公園 フクダ電子ヒルスコート 千葉県千葉市中央区川崎町 2-18 (屋外オムニコート 10 面 No.11~20 使用・会議室 2 室利用)



- 後 援 千葉市・千葉市教育委員会
- ・ 協 賛 BNPパリバ・グループ/タムラクリエイト株式会社(Ken's)/ヨネックス株式会社
 株式会社キモニー/ウインザーラケットショップ
- ¶ グレード JASTA 1,000 point
- ★会委員長 柴谷 健(JASTA)
- 競技委員長 中川勝就(公益財団法人日本プロテニス協会)
- **カテゴリー** A1・A・B1
- 参加費 5,000円(一般)・3,000円(JASTA PLAYERS CLUB会員)
- 競技種目シングルス

- → 表 彰 各カテゴリー 優勝・準優勝
- 来場者数 約50名

開催へのご支援お礼

この大会は、第1回大会が2021年5月23日に同会場(フクダ電子ヒルスコート)にて計画されていましたが、感染症のために中止され、今大会が第2回大会となります。大きな事故もなく大会を終えられました事を皆さまにご報告し、ご支援頂きました全ての皆様に心より感謝を申し上げます。

今大会では、千葉市、千葉市教区委員会のご後援を賜り、ご協賛も2社様からGold協賛を、3社様から物品協賛を、2団体様より大会向けにご寄附を頂きました。お陰さまで、充実した大会が行えましたことを厚く御礼申し上げます。風が強かったものの心配されたお天気も夕方までもち、予定の試合を全て終了することができました。その後で予定していた交流イベント(義足体験・ストラックアウト)は残念ながら小雨が降り出したため、中止となったことは残念でした。

観戦いただいた複数の方から、出場選手の技術力がレベルアップしていると嬉しい感想をいただきました。弊協会は競技としての立位テニスの普及発展を目指しておりますので、大会が技術を研鑽する場になっていることは望ましく、選手の皆様を誇らしく思いました。

何度もボールに食らいつき、混戦を制して初優勝した記念に帰りの食事でデザートまで食べて祝勝した選手がいます。その選手に初めて負けた元チャンピオンは、全体のレベルが上がったことを喜び、さらに技術を磨く決意をしていました。優勝者に早期に当たって敗退した若い選手は、表彰式後の入賞者のスピーチを聴き、帰りの車内で次回自分が表彰された時のためのスピーチを練習したそうです。受傷後、テニスを再開したばかりの初出場選手は、初戦敗退後に障がいのために出来なくなったことを考えて落ち込んだけれど、短時間で気持ちを切り替えてコンソレーションで優勝を果たしました。まだテニスを始めたばかりで試合に出るには早いけれど、観戦するだけではなくスタッフとして手伝いたいと申し出てくれた方は、熱戦を見て来年は選手として出場したいと意欲を見せています。受傷前は数々の実績を持っている方々も新しい体で新しいテニスを獲得して初出場されました。出場選手の数だけドラマのある大会です。ものすごく嬉しいし、ものすごく悔しい。主催者として、親睦目的の交流大会ではなく、競技大会だからこそ生まれるドラマの瞬間に立ち会える幸せを感じました。

今回から、運営をお手伝いいただく方を「ボランティア」ではなく、「運営スタッフ」と呼ぶことにしました。スタートしたばかりの小さな協会が主催する手作りの大会ですが、自主的にお手伝いくださる皆様のご厚意に甘え続けるのではなく、きちんとスタッフとしてお願いする予算を確保することも長く続けるために重要なことと考えています。すぐに十分に実現できるわけではありませんが、出場しても、運営協力しても、協賛しても、価値を感じていただける大会運営を心がけてまいります。

遠征が難しい競技者にも、地元に近い会場での大会を作りたいという思いから、6月には西日本大会を開催し、今回は東日本大会となります。会場が西日本地域、東日本地域となるというだけで、全国どの地域からも(海外選手も)出場可能な大会です。当面は、毎年開催する地区2大会と、全日本大会(国際大会を開催する年はお休み)と合わせて競技者の獲得と競技力向上を目指します。2023年からは、しばらく感染症の流行のために足踏み状態だった地方への普及活動にも力を入れ、これまでに登録選手のいない地域での認知を進めて参ります。これからもJASTAにどうぞご期待下さい。

今大会は、公益財団法人日本テニス協会 (JTA) の多様化テニス委員会から初めて3名の方に視察を頂く予定でしたが、手違いがあり実現致しませんでした。経緯については現在問い合わせ中です。

第2回障がい者立位テニス東日本大会 大会委員長

柴谷 健 Ken SHIBATANI



会場アクセス

<フクダ電子ヒルスコート>

■ 電車

JR 蘇我駅より徒歩 30 分 蘇我駅西口から小湊鐵道バス八幡宿行き、蘇我人車下車 徒歩 10 分



スケジュール

千葉市へ優先予約希望提出 2021年11月下旬 🥎 希望日を複数提示 2022年2月下旬 千葉市より日程と場所の予約確定通知、日程が確定 ・予備日確保は不可 ・感染症などによる中止判断基準を作成 JTA 多様化テニス委員会から大会視察が決定 2022年7月16日 2022年9月初旬 大会方針を定め、協賛依頼開始 ・予算書・大会要項を策定 ・協賛金、商品協賛の依頼開始 ・関係各所に大会概要を通知し、情報拡散協力を依頼、スタッフ募集開始 チーバくん予約 2022年9月中旬 大会専用 Web ページ立ち上げ ・各 SNS で大会告知 ・大会要項リリース 2022年9月25日 大会出場申し込み受付開始 • Gold 協替 2 社確定 2022年9月28日 千葉市・千葉市教育委員会へ後援申請 • 実行予算書作成 • 商品協賛確定 2022年10月16日 出場申し込み締め切り ・ドロー会議 2022年10月22日 仮ドロー発表 ・表彰用品・大会バナー・発注、運営用品購入 ・プログラム作成・当日配布資料・サイン作成 ・保険加入・お弁当予約 ・千葉市へ会場施設利用料減免申請、バナー掲出等占用許可申請 2022年10月26日 千葉市・千葉市教育委員会から後援許可 当日案内を大会 web ページにリリース関係者にメール送信 2022年11月2日 2022年11月10日 協賛品受領 • 名札作成、大会用品検品 チーバくん借り受け 2022年11月11日 💎 ・搬入物仕分け、搬入車両に積み込み 2022 年 11 月 13 日 😽 大会当日 2022 年 11 月 14 日 🦣 チーバくん返却 2022年11月25日 大会報告書作成

・報告書・収支報告書作成・選手・協賛・協力の各所へ報告

ドロー・結果 Category A1

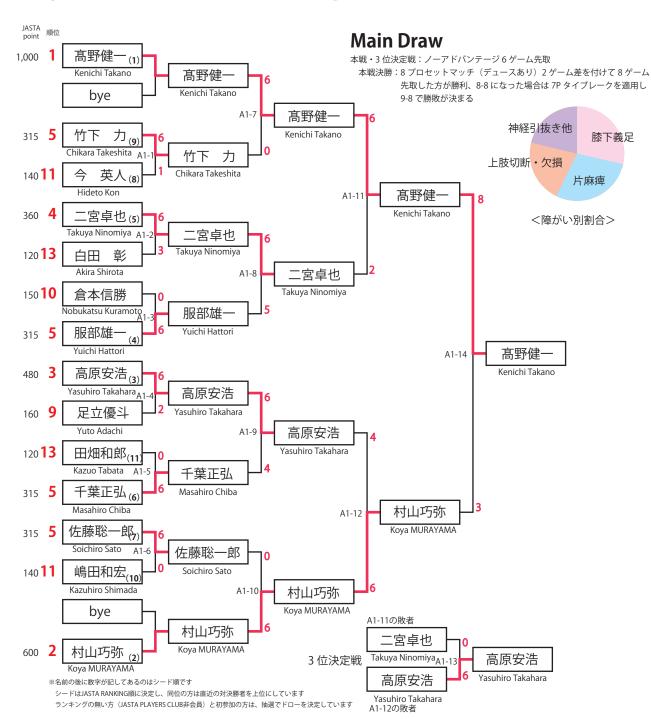
プレゼンター:田村賢司様(タムラクリエイト株式会社代表取締役・JASTA 特別顧問)







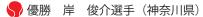
🦴 準優勝 村山巧弥選手(神奈川県)



ドロー・結果 Category A

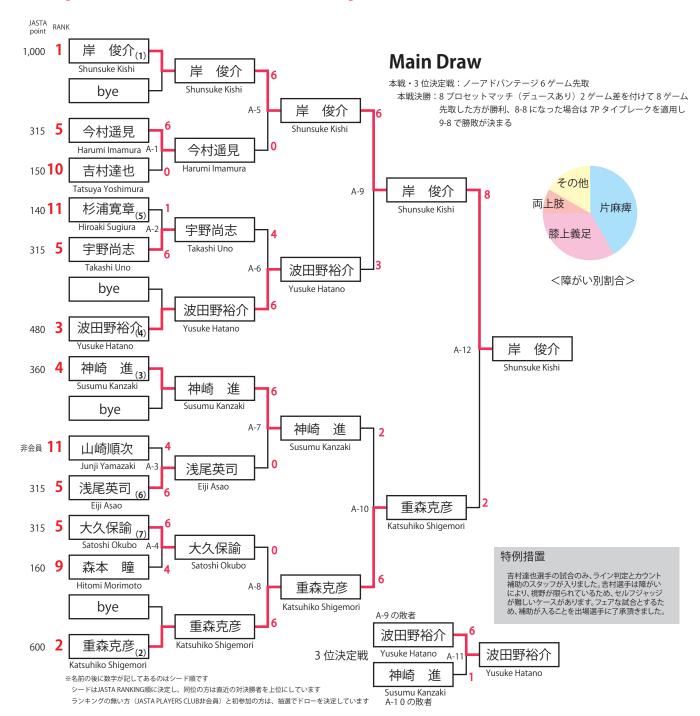
プレゼンター:田村賢司様(タムラクリエイト株式会社代表取締役・JASTA 特別顧問)







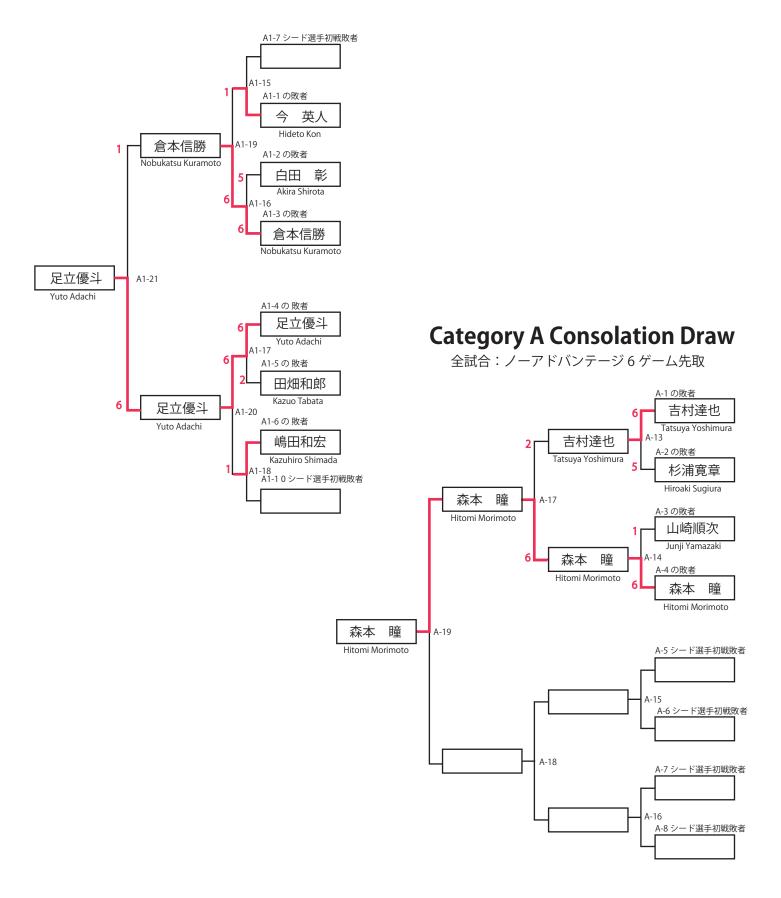
→ 準優勝 重森克彦選手(神奈川県)



ドロー・結果 Consolation

Category A1 Consolation Draw

全試合: ノーアドバンテージ6ゲーム先取



ドロー・結果 Category B1

プレゼンター:田村賢司様(タムラクリエイト株式会社代表取締役・JASTA 特別顧問)



🦣 優勝 関谷 譲選手(茨城県)

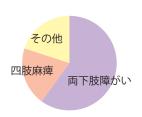


→ 準優勝 青木祐成選手 (東京都)

Category B1(+B mix) Main Draw

全試合: 1 ゲーム 7P 先取 4 ゲーム先取 総当り戦の為、コンソレーション無し

2 者間で勝ち数が同じ場合 = 直接対決の勝者が上位 3 者間で勝ち数が同じ場合 = ゲーム取得率が高い方が上位 (ゲーム取得率=総取得ゲーム数 ÷ 総ゲーム数)



<障がい別割合>

| | Yusei Aoki | Kana Ohwaki | Sho Ohta | Joe Sekiya | Mineo Sato | | | |
|------|------------|-------------|------------------|-----------------------------|------------|---------|----|----------------|
| | 青木祐成 | 大脇佳奈 | 太田 詔 | 関谷 譲 | 佐藤峰生 | 勝敗 | 順位 | JASTA point |
| 青木祐成 | | 4-3 B1-1 | 4 -3 B1-6 | 3 - 4 ^{β1-9} | B1-3 | 2勝1敗 | 2 | 600 |
| 大脇佳奈 | 3-4 | | 1 -481-4 | 2-4 ⁸¹⁻⁷ | B1-10 | 0勝3敗 | 4 | 360 |
| 太田詔 | 3-4 | 4-1 | | 2 -4 ^{B1-2} | B1-8 | 1勝2敗 | 3 | 480 |
| 関谷 譲 | 4-3 | 4-2 | 4-2 | | B1-5 | 3 勝 0 敗 | 1 | 1,000 |
| 佐藤峰生 | | | | | | | | |

※佐藤峰生選手は、本来Category Bですが、今回同じカテゴリーへのエントリーが1名のみだったため、ご本人の了承を得て、Category B1へ統合させていただきます。

佐藤峰生選手は体調不良により出場辞退となりました。

Mineo SATO declined to participate due to bad physical condition .





宇野選手(初)



大久保選手





神崎選手



杉浦選手



(初)は JASTA 主催大会 に初出場の選手



波田野選手



森本選手 (初)



山崎選手 (初)



佐藤選手

嶋田選手

吉村選手 (初)



太田選手



大脇選手

今大会には、JASTA 主催大会に初めて出場された選手が8名いらっしゃ いました。以前から JASTA PLAYERS CLUB の会員として練習会には参加 しているものの、試合に出るのが初めてという選手もいれば、今回を機 に会員になって頂いた選手もいらっしゃいます。受障前にコンペティティ ブなテニスをされて来た方にも、別の形での競技テニスを続ける選択肢 の一つとして、立位テニスが必要とされています。

収入の部

| 項目 | 金額(円) | 内 容 | |
|-------|---------|--------------------------|--|
| 参加費 | 92,000 | 5,000円/一般1名・3,000円/会員29名 | |
| 特別協賛金 | 150,000 | GOLD 協賛(BNP パリバ・グループ様) | |
| | 150,000 | GOLD 協賛(タムラクリエイト株式会社様) | |
| 寄附金 | 50,000 | テニスマイルカップ様 | |
| | 30,000 | デ・ポーム様 | |
| 協会負担金 | 0 | 収入より支出が上回る分を負担 | |
| 収入合計 | 472,000 | | |

支出の部

| 項目 | 金額(円) | 内 容 |
|------------|----------|-------------------------------|
| 会場使用料 | 8,600 | 会場費は 100%免除、都市公園占用料のみ |
| 印刷費(※) | 40,064 | A4 パンフレット 150 部、A4 報告書 150 部 |
| デザイン版下作成費 | 50,000 | R-WORKS |
| 会場装飾費 | 61,784 | 大会バナー・協賛バックバナー・カテゴリーバナー |
| サインボード制作費 | 20,000 | コーナーサイン、注意事項案内 |
| 備品費 | 20,081 | 注水用ウェイト、備品仕分けボックス等 |
| Bコート作成備品費 | 2,754 | 50mm 巾マスキングテープ |
| 試合球 | 0 | ヨネックス株式会社様より協賛 |
| 事務用品費 | 5,709 | 筆記具、ファイル等 |
| 表彰用品費 | 21,780 | 優勝トロフィー3点、準優勝盾3点 |
| 参加賞費 | 0 | 株式会社キモニー様・ウィンザーラケットショップ様より協賛 |
| 送料・通信費(※) | 3,265 | 発送費 |
| 衛生・救護用品費 | 0 | 新規購入なし |
| 会議費 | 2,026 | 会議室利用料、喫茶代 |
| 選手・スタッフ昼食費 | 22,282 | お弁当+水 |
| スタッフ交通費補助費 | 43,000 | 3,000円/11名・5,000円/2名(搬入出車両提供) |
| 旅費交通費 | 12,154 | 高速料金、ガソリン代 |
| イベント保険費 | 1,749 | 53名(選手、スタッフ)想定 |
| 大会本部経費 | 40,000 | 競技委員長、競技副委員長 経費 |
| 大会記録費 | 20,000 | スチールカメラマン 1 名 |
| 企画・資料作成費 | 50,000 | space design studio arc |
| 雑費 (※) | 6,129 | 振込手数料、駐車料金 |
| 未精算分見込み | 約 10,000 | 送料・振り込み手数料など |
| 支出合計 | 441,377 | (※)11月25日現在未精算の大会経費有り |

収支差額 収入合計 472,000 円 - 支出合計 441,377 円 = 30,623 円

[※] 残金は 2023 年開催の大会費用や立位テニスの普及発展のための活動に JASTA が大切に使わせて頂きます。

The 2nd Champions & Runners 第2回チャンピオンと準優勝者

Photo by Hitoshi IZUMI

Category A1





Category A1 準優勝 左片麻痺の村山巧弥選手

Category A



Category A 優勝 左大腿切断の岸俊介選手



Category A 準優勝 右片麻痺の重森克彦選手

Category A1



Category B1 二分脊椎症による下肢障がいの関谷譲選手



Catrgory B1 四肢麻痺の青木祐成選手